

正願寺通信

●境内墓地永代供養墓

正願寺浄苑総墓でのお盆経ご案内

●秋季彼岸会法要ご案内

この『正願寺通信』は、ご縁のあるごなたにもお配りします。ご希望の方はご連絡ください。



発行者:真宗大谷派 正願寺 住職 三保谷 順
〒442-0862 豊川市市田町北之坪1-1
Tel 0533-86-3659 FAX 86-3668
Mail mipomail@cream.plala.or.jp

疑謗為縁

疑謗を縁と為す

仏は人間の苦を

救うのではない

苦悩の人間を

救うのである

今回の言葉は、安田理深という方の、仏教を的確に表している言葉です。

前回、「仏教は、苦悩の原因はあなた自身なのです」と説きます」という所で終わりました。その続きです。仏教がそのように説くのは、例えば、病氣は苦しみの原因ではなくきっかけであり、原因はあなた自身だと明らかにしたという事です。お釈迦様は、

四つの真理(四聖諦)を説かれました。その一つとして

「一切皆苦」があります。すべては「苦」であるという意味です。これは真理です。あなたはその想い様で勝手に苦を作っている、ということではないという事です。

その「苦」が私の真理の目覚めの内容なのです。「これが私でした」という目覚め。ここに仏教があります。それが良寛さんの、

「災難にあう時節には、死ぬ時節には、死ぬがよき候。是はこれ、災難をのがるる妙法にて候」

の言葉になりました。

真宗入門

御命日のつどいご案内

8月のテーマ

超人門

「大切な言葉に出会おう」

「一言」との出会いが人生を変える。ナムアミタブツの教えは、そういう教えです。

その出会い方はいろいろです。5月の「記念法要」で譲先生は、「自分が救われるチャンスは、ピンチの顔してやってくる」と語られました。これも出会い方です。さあ、大切な「一言」に出会いましょう。

御命日のつどいは、どなたでも気軽に御参りできる「つどい」です。お数珠と『浄土真宗学習ノート』・勤行本だけお持ちいただければ大丈夫。日時は28日午前10時30分から11時40分までです。

なお、『浄土真宗学習ノート』を当日プレゼントしてあります。是非この機会にお参りください。



行事のご案内

8月の行事

境内墓地永代供養墓

正願寺浄苑でのお盆経

正願寺境内の「合同永代供養墓」と正願寺浄苑の「総墓」で、左記の日時に永代供養の方へのお盆のお勤めをいたします。どうぞお参りください。

●正願寺境内墓地

「合同永代供養墓」

8月10日(土) 午後5時



●正願寺浄苑

「総墓」

8月10日(土)

午後6時30分



9月の行事

本堂仏具のおみがき

9月の正願寺秋季彼岸会法要に向けて御仏具のおみがきとお掃除をします。

「おみがき」とは、主に真鍮製の仏具の汚れを磨いて取り、綺麗な御仏具でご法要をお迎えするための行事です。新型コロナウイルス感染者が増えてきているようです。できればマスク着用をお願いします。お掃除等もします。汚れても大丈夫な服装でお気軽にご参加ください。

始まり時間は目安です。その後、お茶とお菓子の茶話会があります。色々な方とお知り合いになれます。新しく正願寺とのご縁ができた方も、お気軽にどうぞ。

日時 9月15日(日)

時間 午前9時から

1時間ほど



秋季彼岸会法要厳修

秋季彼岸会法要を左記の日程で勤めます。是非お参りください。

「法話の小谷先生は、私たちが普段生活の中で出会っていることを通して、仏教の教えを生きる姿を語っていただきます。

なお、門徒会館に「お志」の受付を設けます。

◇日時 9月23日(月)

午後1時30分から法要

◇法話 小谷香示師

(一色町 明榮寺住職)

◇持ち物

念珠・勤行本(あれば)

※「お志」もあわせてお願いたします。

新型コロナウイルス感染患者も増えてきています。本堂に入る時はアルコールで手を消毒し、マスクの着用をお願いいたします。



お盆のお参りについて

お盆の各ご家庭へのお参りの日取りについては、おおむねスケジュールが確定しました。近づきましたら、随時日時をご連絡させていただきます。

なお、ご葬儀ができたときは、急遽時間を調整することがございます。ご了承ください。

その他のご案内

書籍のご案内

「一億三千万人のための歎異抄」

作家の高橋源一郎氏が、『一億三千万人のための歎異抄』という題名の本を出されました。今まで「歎異抄」の解説は何冊も読んできましたが、こんな本は初めてです。

本の題名は「一億三千万人のための」とありますが、文中にも「ぼくだけの『シンラン』」と書かれているように、高橋さんの心の内側に広がる親鸞

なのです。そして

「『シンランのことば』を直接、みなさんに届けたいと思う。(中略)だから、ぼくが

ほんのちよつとだけお手伝いします。ご心配なく。『シンラン』がいま生きていたとしたら、きつとこういっただろうな、そんなことばにすこしだけかえて、みなさんに届けるつもりです」と語りかけます。

そのために、親鸞聖人の弟子で、『歎異抄』の作者と考

えられている唯円と、師である親鸞との対話という、分かりやすく自然に読める、まるで小説のような文体となっています。どうぞ一度読んでみてください。



高橋源一郎 作家

1951年広島県生まれ 明治学院大学名誉教授

お知らせ

お手伝いいただける方

募集

正願寺は多くの方のお手伝いによって支えられています。新聞・通信等を配つてくれる方、法要の御齋を作られる方、お磨き掃除の奉仕して下さる方、責任役員・総代・墓地委員・門徒会員など沢山の役でお寺に関わって頂いてます。

多くの方に少しずつ関わってもらいたく、願います。その時があるかと思えます。その時は宜しく願います。

いま特に、代田1丁目・蔵子5丁目地区、諏訪2丁目近辺、東光町・桜木地区の新聞・通信等を配ってくれる方を募集しています。どうぞご連絡ください。

正願寺での町内行事

「盆踊り」開催のご案内

コロナ流行以前まで、中学校グラウンドにて実施されてきました市田町内会主催の「盆踊り」が、正願寺駐車場で開催されることとなります。

た。8月11日(日) 18時30分

からです。飲み物の販売やゲームコーナーもあるそうです。

お盆のお参りの方の駐車場は確保してあります。

なお、先月号のご案内の日にちが違っておりまして。お詫びして訂正します。

あそびが

猫がいます。この猛暑の中、冷房の効いた涼しい部屋から、猛暑の外へ出て昼間を過ごしています。

祖母がよく「猫の暑いは土用の3日だけ」と言っていました。猫には冷房は体に合わないのでしょうか。それとモ人間がおかしいのか。



住職 いえいえ、オス猫は外から帰ったり、庫裏の冷房の効いてない場所から帰ると、冷房の効いた部屋に寝そべりお腹冷やして

から次の行動へ。雌猫は、薪棚の風の通る日陰か、庫裏内の北向きの日陰の廊下で寝そべって。猫も人間と同じで冷房の好きな方と自然の風が好きな方があるみたい。

